

## 総合的な学習の時間 「福祉・手話」

川崎市立野川小学校



### 単元（題材）目標

- 聴覚障がいについて理解を深め、私たちにできることは何かを考える。
- 聴覚障がい者のコミュニケーション方法について調べる。
- みんなが幸せに暮らしていくことについて考える。

### （1）実施時期

令和元年 10 月～11 月

### （2）対象（学年等・人数）

第 4 学年 3 組 32 名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭



### （4）実施内容

- ① 「聴覚障がいと福祉」について知る。（本、映像教材などを利用）
  - ・もし私たちの耳が聞こえなかったら、どんなことが困るかを考える。
  - ・聴覚障がいについて知る。（困難なこと、生活の様子、町の工夫など）
  - ・聴覚障がい者のコミュニケーション方法について知る。
- ② 聴覚障がい者のコミュニケーションについて詳しく調べる。（本、PC、映像教材）
  - ・筆談、口話、手話の 3 種類があることを知る。
  - ・手話についてさらに調べ、簡単なあいさつなどいくつかの手話を覚える。
- ③ 調べたことを発表する。
  - ・「野川のつどい」というクラスブース発表型の全校行事で、「聴覚障がい者と福祉」というテーマで学習の成果を発表した。手話体験などを交えながら、同学年児童のほか、異学年、保護者、地域の方々に向けて発表した。

### （5）成果

- 聴覚障がいについて調べることで、福祉についてより理解を深めることができた。
- 特に手話の学習は、児童の興味関心を高め、様々なコミュニケーション方法に親しんだり、誰もが幸せに暮らせるまちをつくる方法について考えたりすることにつながった。

### （6）その他

- 今後、外部講師などを招き、手話についてより一層理解が深められる機会があると良いと思う。